

2006 年末～2007 年始における山の気象の記録

2007 年 4 月 東京都山岳連盟気象委員会

東京都山岳連盟に加盟している団体の協力により、7 つの登山パーティから 2006 年末～2007 年始における山の気象データを収集した。そのデータをまとめた資料を作成したので、気象遭難事故防止や冬山の気象の研究に活用していただきたい。

今冬は昨冬の寒冬にくらべて暖冬の傾向に終わり、目立った山の気象遭難事故もなく経過した。当期間の年末にあたる 12 月 29 日～31 日は西高東低型の冬型気圧配置となったが、強い冬型は 29 日のみで、その後 30 日～31 日は冬型の気圧配置も次第に弱まった。そして 1 月 1 日の元旦には冬季には珍しく移動性の高気圧が現れて日本付近を広くおおい、山の天気は晴れの好天となって各地の山は登山者で賑わい、冬山の醍醐味を味わった。

次に各日ごとに山の気象データの報告と天気図とから、その日の天気状態をみていく。

・12 月 29 日

天気図型は西高東低の冬型となっているが、青森県の西には低気圧があって東北地方から北海道南部にかけては天気が悪くなっている。このため比較的 low 気圧に近い巻機山付近では降雪の天気となっており、上層の 500hpa 天気図や富士山の気温傾向からもかなりの寒気が流入し、大気の状態は不安定で雷雲（積乱雲）が発生し時折雷鳴を聞いている。雷鳴が聞こえる時は雷雲が発生している証拠で雪を多く降らせることがある。この日本海低気圧は前日の 28 日には天気図上に姿を現していないが、日本海中部の等圧線の走りを見ると南西方向に向かって膨れており、このような時には低気圧や寒冷前線があることを示している。後立山方面は曇天であるが、標高の高い稜線部では雪となっている筈である。一方、太平洋側にあたる北岳では冬型の冬晴れの天気となっている。

・12 月 30 日

前日の 29 日に青森県の西にあった低気圧は北海道東方の発達した低気圧に吸収されて、天気図上から姿を消して気圧配置は冬型となった。しかし、この冬型の気圧配置は「引き」の型といって大陸高気圧の張り出しが弱く、西日本方面では等圧線の間隔が広まって冬型の気圧配置が弱まってきた証拠である。このため北アルプスや巻機山方面では降雪も止み、天気は回復して良く晴れてきている。

・12 月 31 日

大陸方面の高気圧が広く日本付近をおおっているが、この高気圧の中心が幾つかに分かれた状態である。このような型になると大陸高気圧は一部移動性高気圧となることが多い。このため日本付近は冬型から移動性高気圧型となって広範囲にわたっておおい、冬季の日本列島は晴天域が多くなり八甲田山域では雪の天気から午後になって曇天、巻機山付近では曇りから夕方には晴れてきた。その他の山域では終日晴天となっている。

・1 月 1 日

大陸高気圧の一部が移動性高気圧となって日本付近を広くおおってきたため全般的に晴天域が多くなったが、八甲田山域では雲がとれにくく日中は時々晴れる程度で曇りベースの天気、多少山域による天気の差を示しているが、全体としては穏やかな晴天となったが稜線部では風がやや強かった。

・1 月 2 日

晴天をもたらした移動性高気圧が去ったあと、弱い低気圧を伴った気圧の谷が日本付近を通過した。このため天気は全般的に曇天となり、標高の高い稜線部では時々雪の降る状態で、大きな天気の崩れはなかった。しかし、このような天気図型は時には発達した低気圧を伴うこともあり注意が必要である。前日の天気図に寒・暖気の流入が予測されるような時は警戒（低気圧が発達）。

500hpa の高層天気図をみると、12 月 29 日に低気圧を伴った上層の気圧の谷が日本付近を通過し、気圧の谷の後面の寒気は弱く、その後は気温も次第に上昇気味となり、年始になってからもあまり気温の変化も大きくなく経過した。等高度線の間隔も 12 月 31 日頃から次第に広まって、高気圧圏内の場となった。しかし、上層風は全般に強いので高気圧や低気圧の動きが早く、特に 1 月 1 日から 3 日かけての天気図の変化が大きかった。

[文責 城所 邦夫]

2006 年末～2007 年始の山の気象データ

北アルプス 後立山連峰爺が岳東尾根 (東京都山岳連盟所属 木の会)

月 日	場 所	気象データ
12月30日	鹿島集落登山口～1770m幕営地	小雪のち晴れ 積雪 1770m地点 1m程度
12月31日	幕営地～矢沢の頭～爺が岳山頂～幕営地	快晴無風 360度の大展望
1月1日	幕営地～鹿島集落登山口	晴 初日の出を見る

北アルプス 唐沢岳幕岩S字状ルート (東京都山岳連盟所属 昭和山岳会)

月 日	場 所	気象データ
12月29日	葛温泉～高瀬ダム下～金時の滝下～大町の宿	曇り
12月30日	大町の宿～大テラス～テラス～ビバーク	雪と風で視界悪い 6:30頃より天気回復 のち晴れ 高瀬ダムの照明や月や星がきれい
12月31日	～ハンク左端直上～登攀終了～右稜のコル～大町の宿	晴れ 時々腰までのラッセル
1月1日	大町の宿～葛温泉	晴れ

南アルプス 北岳 (東京都山岳連盟所属 稜朋会)

月 日	場 所	気象データ
12月29日	開運トンネル～あるき橋～池山御池小屋幕営地	晴れ、強風が通り過ぎる
12月30日	幕営地～ボーコン沢の頭～幕営地	晴れ 間ノ岳の稜線に雪煙 ボーコン沢の頭では猛烈な風が吹き荒れている 夕方から風が収まる
12月31日	幕営地～あるき橋～開運トンネルゲート	晴れ

南アルプス 赤石岳 (東京都山岳連盟所属 アルペンクラブアルファー)

月 日	場 所	気象データ
12月30日	沼平～榎島	晴れ 榎島には雪なし
12月31日	榎島～赤石小屋	晴れ
1月1日	赤石小屋～赤石岳～赤石小屋	晴れ 御来光を見て出発 長野県側からの強風が顔を打つ
1月2日	赤石小屋～榎島～沼平	朝から曇り ピークにはガスがかかっていた

上越 三ツ石尾根～巻機山（東京都山岳連盟所属 童人トマの風）

月 日	場 所	気象データ
12月29日	蛭窪～880m付近 (C1)	雪 昼過ぎに時折雷鳴が轟く
12月30日	C1～大割山～ニセ小兜 (C2)	雪のち曇り 30日夜からの積雪は30cm
12月31日	C2～大兜山～上カケズ先 (C3)	曇り 夕方から穏やかに晴れ 月と星と山々のパノラマの夜が印象的
1月1日	C3～三石山～避難小屋 (C4)	晴れのち曇り ほぼ無風快晴
1月2日	C4～曇天	曇り時々雪、下山後雨

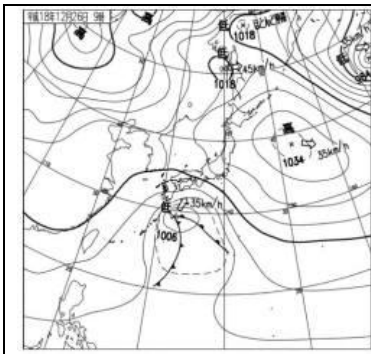
奥秩父 甲武信岳～雁坂峠（東京都山岳連盟所属 日本ハイキングクラブ ）

月 日	場 所	気象データ
12月31日	西沢溪谷入口～木賊山～甲武信小屋	木賊山から甲武信岳が眺望
1月1日	甲武信小屋～甲武信岳～雁坂峠～雁坂峠入口	甲武信岳頂上にて御来光 初富士を望む

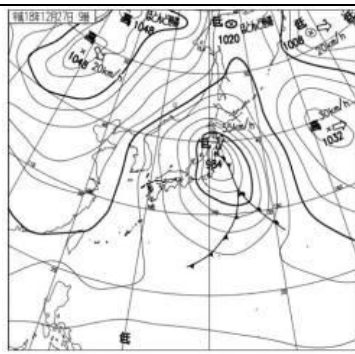
東北 八甲田連峰（東京都山岳連盟所属 山好会）

月 日	場 所	気象データ
12月31日	黒石～横岳～酸ヶ湯～寒水沢温泉	黒石 8:15 曇り 横岳 13:00 風やや強く雪
1月1日	酸ヶ湯～仙人岱～八甲田大岳～寒水沢温泉	酸ヶ湯 8:30 曇り 大岳 12:20 風弱くガス
1月2日	スキー練習	田茂泡岳終日ガス、時折雪
1月2日	ロープウェイ駅～田茂泡岳～前岳～寒水沢温泉	ロープウェイ 9:10 曇り 前岳 10:10 風弱く曇り

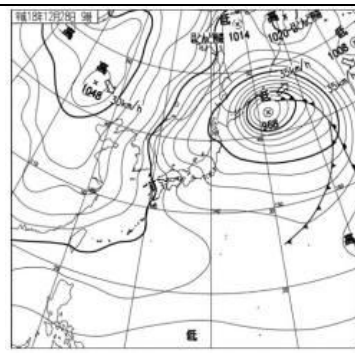
2006 年末～2007 年始の地上天気図（気象庁提供）



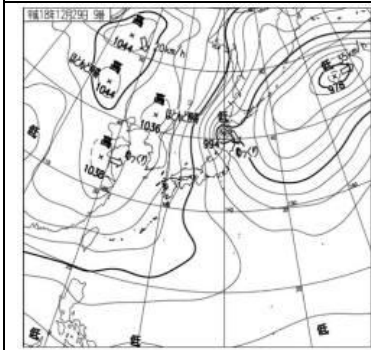
12月26日9時



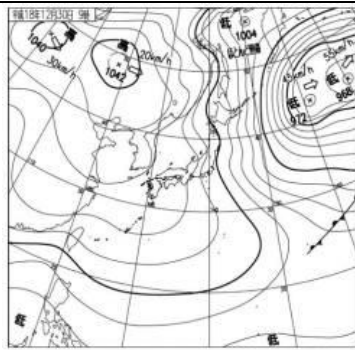
12月27日9時



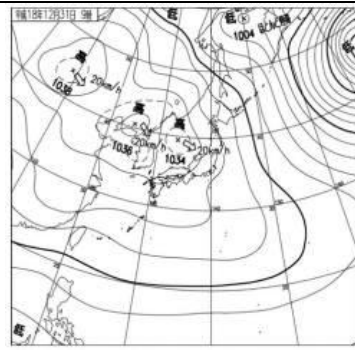
12月28日9時



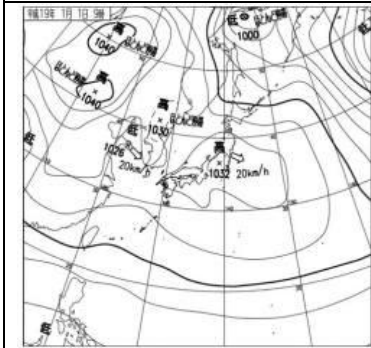
12月29日9時



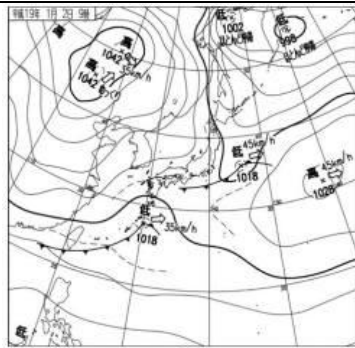
12月30日9時



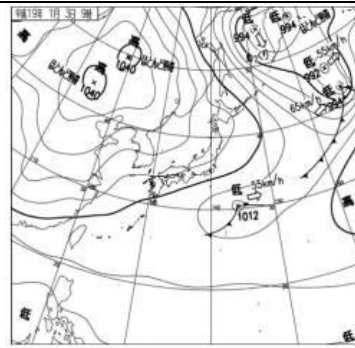
12月31日9時



1月1日9時

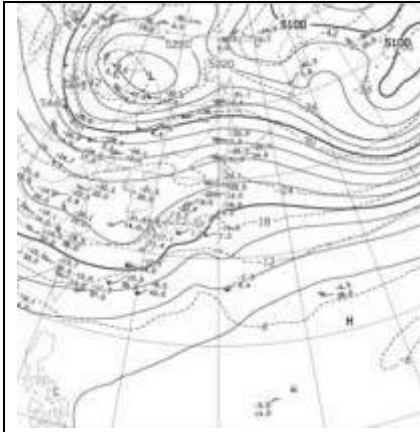


1月2日9時

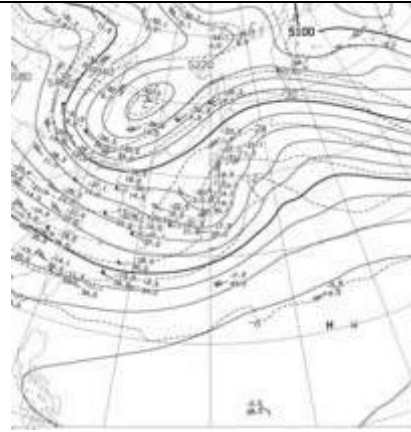


1月3日9時

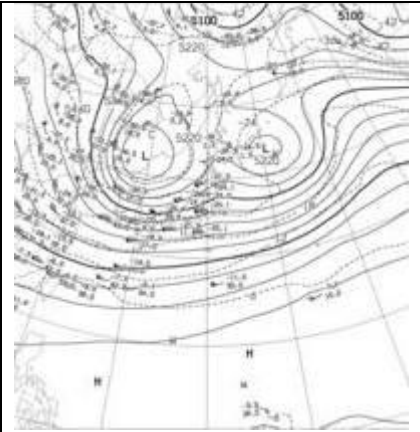
2006 年末～2007 年始の 500hPa 高層天気図 (気象庁提供)



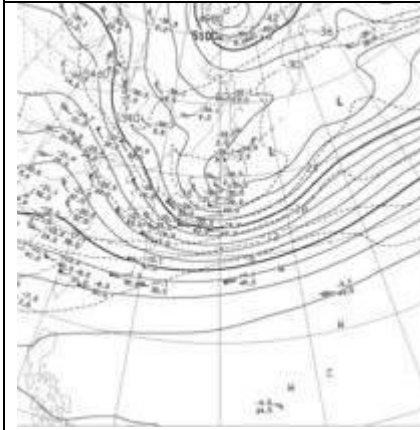
12月26日9時



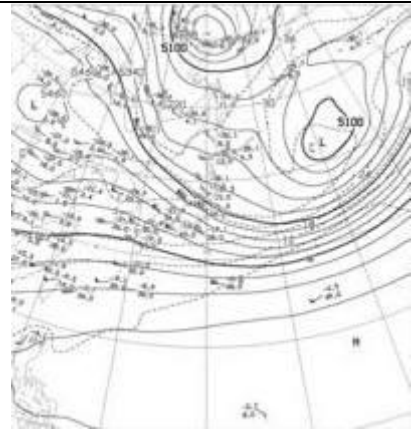
12月27日9時



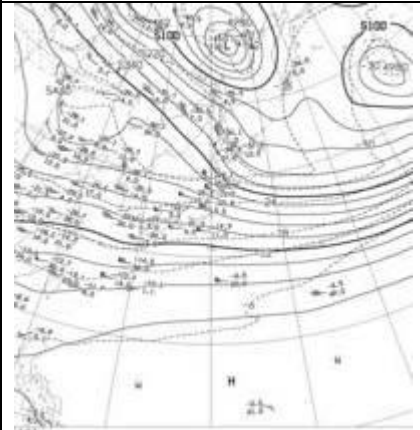
12月28日9時



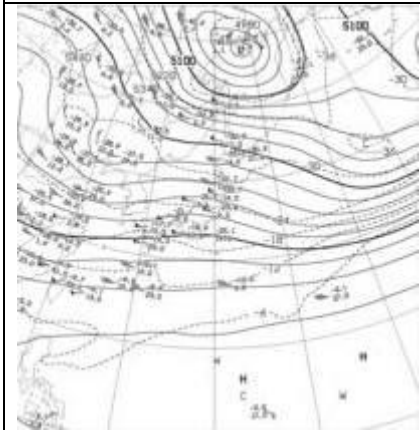
12月29日9時



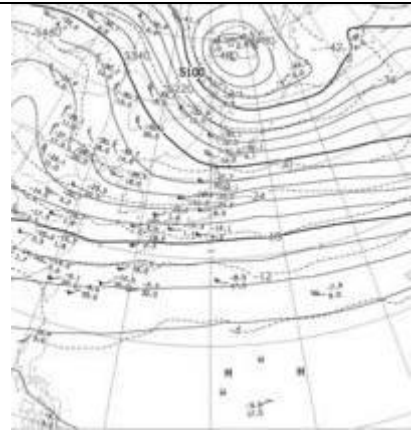
12月30日9時



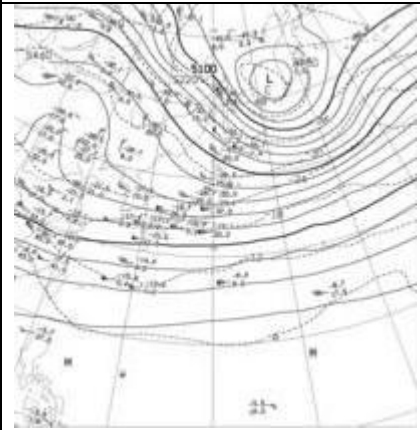
12月31日9時



1月1日9時



1月2日9時



1月3日9時

